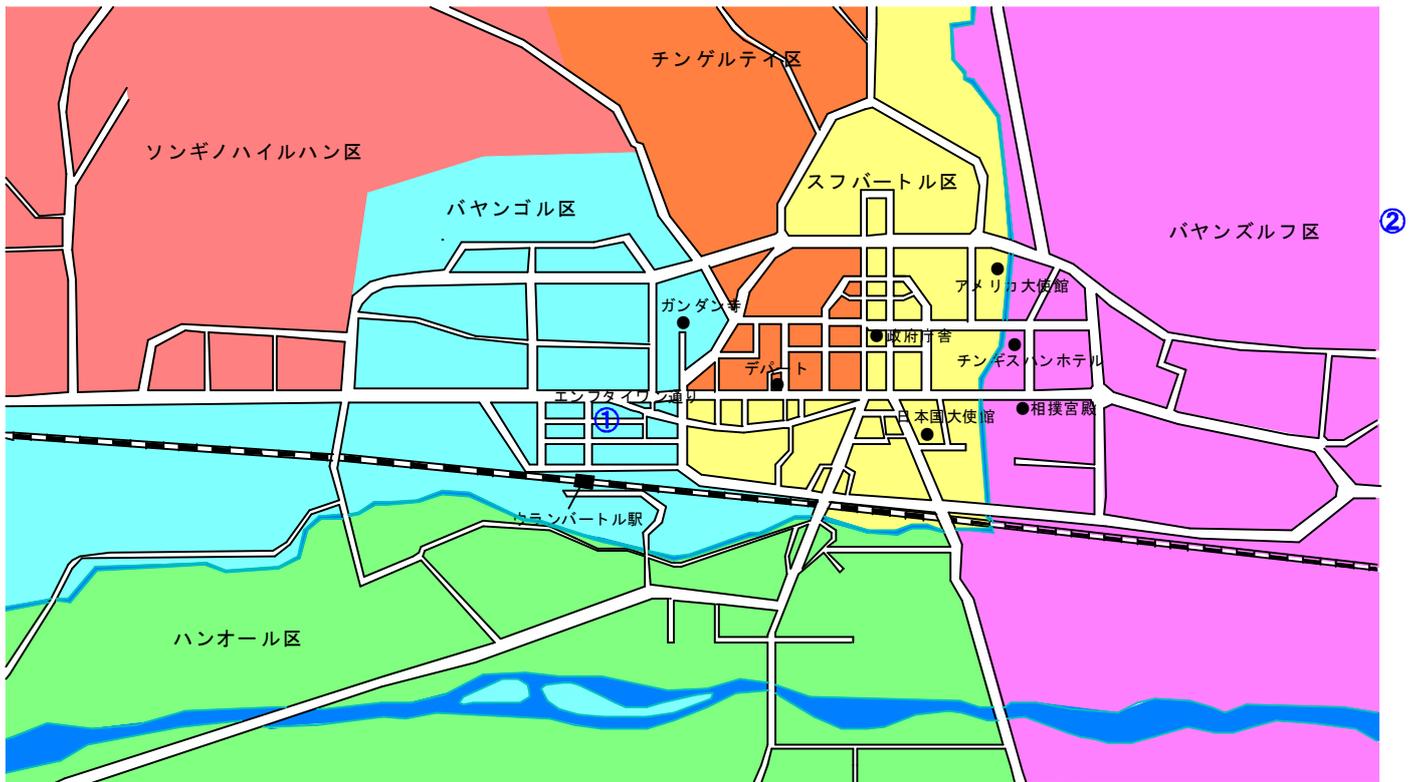


UB CITY 安全情報 (平成27年8月号)

7月中のウランバートルにおける邦人被害状況及び当地新聞に掲載された主な事件・事故を地図上に表しています。



※邦人被害状況 (大使館調べ)

事件発生日時	事件発生場所	被害状況
7月25日 (土)	アルハンガイ県内	現地で知り合ったモンゴル人に、別れ際に金を要求され、無視して立ち去ろうとしたところ、顔面を殴られ、所持金を奪われたもの

※当国新聞掲載事件・事故

掲載日(任国新聞)	場所	被害者(性別・年齢)	犯人(性別・年齢)	事件・事故の概要
① 7月16日 (木)	バヤンゴル区	プンツァグログチン寺	男	窃盗(寺院内から仏像が盗まれた。)
② 7月28日 (火)	バヤンズルフ区	-	B(常習犯)	窃盗(数日間のうちに車両6台が盗まれた。)

※2015年上半期の犯罪情勢

【モンゴル国内】

	2014年	2015年	増加数	増加率
全犯罪	13,565	14,855	1,290	9.5%
殺人	53	38	-15	-28.3%
強盗	187	128	-59	-31.6%
暴行傷害	2,159	1,940	-219	-10.1%
窃盗/ひったくり	2,070	2,428	358	17.3%
詐欺	415	452	37	8.9%

【ウランバートル市内】

	2014年	2015年	増加数	増加率
全犯罪	8,453	9,633	1,180	14.0%



【アドバイス】

- ・ 郊外で邦人旅行者が強盗被害に遭う事件が発生しました。幸いケガはなく、犯人もすぐに逮捕され、被害金も返還されましたが、警察で長時間の事情聴取を受けたり、旅行計画を変更せざるを得なかったり、精神的なダメージも少なくありません。
- ・ 本年の上半期の統計を見ると、犯罪情勢は引き続き悪化傾向にあり、特にウランバートル市内の犯罪増加率が高くなっています。「自分は大丈夫」ではなく、「次は自分の番かも」という気持ちを持って、日頃の防犯対策に取り組みましょう。